

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3818101	インターンシップ Internship	木村典子 河合詠子	専門	1	選択	1・2年 前期 集中
科目の概要						
<p>様々な職場での体験学習を通して、業界の現状と職種の内容を把握する。事前指導では、インターンシップのながれをとらえ、実習での心構えを学ぶ。また、一般的なマナーについて実践ができるように習得する。実習を通して、現場の状況を知り、自分自身の適性をはかり、進路の選択に役立てる。事後指導では、実習内容を発表し、他の職場の実状についても知り、今後の就職活動へ繋げていく。将来、社会の中で活躍していくために要となるで建学の四大精神と社会人基礎力を育成していく。</p> <p>★インターンシップを通して、企業理念、取り組みを理解し、働くことの意味を理解し、学生自身のキャリア形成の一助になるようにする。</p>						
学修内容			到達目標			
① インターンシップでのマナー、社会常識について学修する			① 社会人としての、規律、挨拶、お辞儀、敬語、服装を説明、修得できる。			
② インターンシップを通して、業界の現状と仕事内容について学ぶ			② インターンシップを通して仕事内容が理解し、業界の現状を深めることができる			
③ 職場での実習で実務を経験する			③ インターンシップを通して、職種のあり方を知り、企業で求められることについて説明することができる。			
④ インターンシップを振り返り、自分の適性をはかり、進路選択に繋げる			④ インターンシップを振り返り、自身の学びをわかりやすく伝え、今後の就活活動の方向性を説明することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前 に 踏 み 出 す 力	主体性	実習前中後において自分の役割を積極的に果たす。				
	働きかけ力					
	実行力	実習での目標を明確にし、粘り強く取り組み、目標を達成する。				
考 え 抜 く 力	課題発見力	実習を通して学んだ企業の現状と業界の現状を結びつけて考えることができる。				
	計画力					
	創造力	実習で得た知識を利用し、今後の就職活動につなげることができる。				
チ ム で 働 く 力	発信力	実習前中後でのわからないことを積極的に質問紙し、指導者の話をよく聞いたうえで、自分の考えを提案する。				
	傾聴力	実習中、指導者の話をしっかりと把握する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	やむを得ない理由のない限り欠席はしない。実習前中後で提出しないといけない書類を丁寧に仕上げ、提出することができる。				
	ストレスコントロール力	実習で分からないことなどでピンチになっても、動揺せずに、指導者に指導を仰ぐことができる				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。</p> <p>参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:「キャリアデザインI~IV」、「ビジネス実務演習」など</p> <p>資格との関連:なし</p>						
学習上の助言			受講生とのルール			
日頃から新聞やTVニュースで社会のながれや経済動向を把握しよう。学外の授業であるので、実習先に迷惑がかからないように積極的に取り組み、自己の進路選択に結びつけて行動しよう。			日常生活において、良いコミュニケーションの取り方(話し方や態度)について考えておこう 実習中は遅刻、欠席は厳禁です。実習先へ迷惑のかからないように細心の気配りを行いましょう。 実習期間中は、実習内容を詳しくメモをとり、帰宅後実習記録にしっかりまとめよう。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①	✓	実習記録については、わかりやすく、丁寧にまとめる。実習内容や実習での課題についてしっかり記述してあるかを評価する。 実習を振り返り、企業の特徴・自分の学びについてまとめ、自身の次の目標をわかりやすく PP でまとめ、発表することができる。
		②	✓	
		③		
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) 実習において自分の役割を積極的に果たすことができているか。 (実行力) 実習先の目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。 (課題発見力) 実習内容を分析し、課題を見つけて対処しているか。 (創造力) 実習で得た知識を利用し、今後の仕事のイメージを創り出しているか。 (発信力) 実習先での自分の考えを提案することができるか。 (傾聴力) 実習中、他人の考えをしっかりと把握することができるか。 (規律性) 外部の組織・団体に迷惑をかけていないかどうかを含め、実習先のルールを守っていたかどうか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他	70	①	✓	実習評価表をもとに、実習への取り組み(意欲、態度)について、実習先で評価していただく
		②	✓	
		③	✓	
		④		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>1. 自分の活かせる場をみいだし、積極的にインターンシップに参加できる。その後、積極的に自分にあった業界・企業を収集し、次の活動にむすびつけること、率先して連絡・報告・相談ができる。</p> <p>2. 自分の体験したインターンシップを他者に、わかりやすく説明できる。</p> <p>3. インターンシップでの経験を活かして、活動を継続できる。</p> <p>秀は1.2.3ができています。優は1.2ができています。</p>	<p>良の到達レベル</p> <p>1. 教員のアドバイスのもと、インターンシップでの目標をみいだし、参加できる。連絡・報告・相談ができる。</p> <p>2. 自分体験したインターンシップを他者に、説明できる。</p> <p>可の到達レベル</p> <p>1. 教員のアドバイスがあつて、インターンシップに参加し、連絡、報告ができた。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	インターンシップの概要について 概要を説明し、実習に対する参加意欲を確認する。	講義と質疑応答	インターンシップの内容が理解できる	(予習)インターンシップ先を就職サイトなどで調べよう。 (復習)インターンシップの内容を確認する	45	傾聴力 主体性
2週 /	事前指導① インターンシップの目的 実習のながれ 実習時の書類について	講義と演習 書類作成を含む (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	インターンシップの目的がわかり、実習のながれをとることができる	(予習)インターンシップの目的について (復習)作成した書類を確認する	45	傾聴力 主体性
3週 /	事前指導② 実習時の服装や持ち物 実習にあたっての心構え 言葉遣いや挨拶、立ち振る舞いなど 一般的なマナーについて実習	演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	実習におけるおおよその心構えができる	(予習)実習にあたっての心構え (復習)言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習	45	傾聴力 主体性 実行力
4週 /	事前挨拶 実習先へ事前挨拶 巡回教員へ事前挨拶	実習	実習先と巡回教員へ挨拶ができる	(予習)挨拶の練習 (復習)実習先で受けた諸注意のまとめ	45	傾聴力 主体性
5週 /	インターンシップ実習 実習先-(例) ・アパレルメーカー ・商工会議所 ・医療機関 ・一般企業 ・ブライダルメーカー など	実習 (実習先の担当者が記した実習記録でフィードバックする)	実習は指導者の指示に従い、社員の勤務に準じて業務を行う。毎朝、出勤簿に捺印し、出勤記録を残す。また、実習内容を詳細にメモを取り、帰宅後実習記録にまとめる。	(予習)実習内容の確認 (復習)実習した業務内容を実習記録にまとめる	450	主体性 実行力 課題発見力 働きかけ力 柔軟性
6週 /						
7週 /						
8週 /						
9週 /						
10週 /						
11週 /						
12週 /						
13週 /						
14週 /	まとめ 実習報告会	演習(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	実習内容を報告できる	(復習)反省を振り返り、今後の就職活動を検討する	45	傾聴力 主体性
15週 /	まとめ 実習報告会	演習(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	実習内容を報告できる	(復習)反省を振り返り、今後の就職活動を検討する	45	傾聴力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力